

みらい



From

Phoenix, Arizona

アリゾナ州 フェニックス

アリゾナ州・フェニックス



見るからに暑そうな(!?)アリゾナの州旗



あだ名はグランドキャニオン州です

カリフォルニア州の隣、メキシコの北にあります。

誕生日は1912年のバレンタインデー(2月14日)で昨年100周年を迎え、今年で101歳です。アメリカ本土の州では一番最後にアメリカ合衆国となりました(48番目)。

砂漠気候で、乾燥した暑い夏と比較的温暖な冬が特徴ですが、北部の松林や山岳部ではかなり涼しく、冬も雪が降ります。

首都はフェニックスで、その近郊はValley of the Sun(太陽の谷)と呼ばれています。その名のとおり、太陽がさんさんと照り、時にはじりじりと肌に突き刺さりますが、湿度が低いため(10-20%)カラッとした暑さとなります。

夏の気温は40-45度。先月(6月)には48度をマークしました。これでもアリゾナ史上4番目の暑さだということで驚きです。最高気温は1990年の50度だそうです。

アリゾナ州にはたくさんのインディアン部族、居住地があり、伝統を守りながら暮らしています。



スペイン語

フェニックスにはメキシコからの移民がたくさん住んでいます。スペイン語はまるでフェニックスの第二言語という感じです。スペイン語を話せるスタッフはお店、会社、病院、役所など、いろいろな所で活躍しています。

スペイン語(と英語)を話してみませんか？

こんにちは
Hello (ハロー)
Hola (オラ)

お元気ですか？
How are you? (ハウ アー ユー)
Como estas ? (コモ エスタス)

私の名前は太郎です。
My name is Taro (マイ ネーム イズ タロウ)
Mi nombre es Taro (ミ ノンブレ エス タロウ)

さようなら
Good bye (グッバイ)
Adios (アディオス)

私は**日本**から来ました
I am from Japan (アイ アム フローム **ジャパン**)
Yo soy de Japón (ヨ ソイ デ **ハポン**)

おもしろ発見

パンは英語ではBread (ブレッド)。実はスペイン語でパンなんです。私は昔、パンって英語だと思っていました。Pan De Dulce(甘いパン)といって、日本の菓子パンによく似たものがあります。子供の頃に食べたメロンパンの味がします。

パンツ(ズボン) はスペイン語でパンタロン。パンタロン、懐かしい呼び方ですね。



Jogging Life in Phoenix



～フェニックスを走る～

私は2008年から健康、体力増進のためにジョギングを始めました。初めは1Kmも走れず、大丈夫かな?と不安でしたが、継続は力なり、というのは本当で、少しずつバテずに3Km、5Km、今ではゆっくりながらもフルマラソンを完走できるようになりました。

フェニックスはランニングをする人が多く、大会も5Kmからフルマラソンまでたくさんあり、また、大会のほとんどがチャリティーと関わっていて、参加費の一部がチャリティー団体に振り分けられるということで、走って良い気持ちになり、かつ、誰かが喜んでくれるという、まさに一石二鳥です。

フェニックスは景色が横に広がっています。空が真っ青で、雲が真っ白でとても気持ちよく走れます。すれ違う人々はとてもフレンドリーで、挨拶も気持ち良くできます。また、山を走ると、リスなどの小動物に出会えたり、鳥のさえずりがまるで鳥同士で話をしているように聞こえてきたり、自然の素晴らしさを感じます。

20年前は3日坊主で終わっていたジョギングですが、今は5年間も続いています。秘訣は「無理せず、ゆっくり」だったようです。目標は70歳になっても走っていただけること。日本のマラソン大会にもいろいろ参加したいです。夏の間は暑くて外は走れませんが、秋、冬になるのを楽しみに、これからもフェニックスを走っていきたいと思っています。



いつも走っている住宅街



時々こんなところも走ります



こんな空を見たら元気になります



毎年1月、アリゾナ最大のPF Chang's マラソン

MATSURI (祭) 2013

毎年2月の最終の週末にフェニックスのダウンタウンでMATSURIと呼ばれる日本のお祭りが開催されます。フェニックス近郊の日本食レストランはもちろんのこと、日本に関係するお店、団体が参加し、日本の文化に触れるいい機会となっています。毎年、子供、若者から大人まで、訪問者が増えて人気のイベントとなっており、今年も大盛況でした。



お餅つきのデモンストレーション



侍はいつでも人気



この方も登場！



盆栽に魅せられる人も多い



忘れません！



迫力のある太鼓



アリゾナ唯一の日本舞踊の教室「寿々由紀会」のジュニアのメンバーさん達。一生懸命練習してきた成果を出してくれました。日本の文化を守り、周りに紹介してくれてとても頼もしいです。将来が楽しみです。

～おわりに～

最後になりましたが、私はフェニックスで脳神経専門の看護師をしています。現在はパーキンソン病を専門とするクリニックで働いています。「みらい」の依頼から、フェニックス・アリゾナでの日常について…とは一体なんだろう??と考えるみました。残念ながら、仕事については特に最近厳しくなっている患者さんやクリニックのプライバシー保護のこともあり、詳しく書くことができませんでした。仕事のことが書けないとなると、うーん、一体私のフェニックスでの日常ってなんだろう?と考える時に、今度はいろいろなことが浮かんできました。スポーツの盛んな町であること、日本のアニメが人気なこと、先住民インディアンのこと、西部劇のこと、サボテンのことなどなど。外にフライパンを出して卵が焼けるかを実験してレポートするのも楽しいかも、とか。今回紹介させていただいたのはほんの一部のフェニックスですが、釜石市の皆さんとつながることができてとても嬉しく思います。またの機会がありましたらお声をかけていただけると嬉しいです。

「みらい」を紹介してくださった、ママリングスの落合香代子さん、サポートしてくださったMichaud Ayumiさん、どうもありがとうございました。(館内紀子)